

# 令和2年度 全国学力・学習状況調査の 問題冊子の活用事例集

津市教育委員会

令和2年10月

# 令和2年度全国学力・学習状況調査の問題冊子の活用例

	A 校内研修で活用	B 調査を実施して活用	C 授業で調査問題を活用
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教員が学習指導要領で求められている学力を理解し、学校全体で授業改善につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒の学習状況を客観的に把握し、課題を明確にすることができる。</li> <li>○ 児童生徒の課題に基づいた個に応じたきめ細かい指導や授業改善につなげることができる。</li> <li>○ 県や市の参考平均値と比較することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領で求められている学力を身に付けさせる授業を展開することができる。</li> </ul>
活用手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教員が問題を解き、求められている学力を理解する。</li> <li>2 授業改善の方向性を明確にし、具体的な取組事項を決める。</li> <li>3 取組事項のPDCAサイクルを確立し、定期的に検証改善を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実施日を決め、マニュアルに沿って調査を実施する。</li> <li>2 校内全体で採点し、解答類型に分け正答率を出す。</li> <li>3 正答率の低い問題について分析し、課題を明確にする。</li> <li>4 調査対象学年の課題を学校全体で共有し、全ての学年の授業改善に生かす。</li> <li>5 調査結果を生かし、個に応じたきめ細かい指導を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 解説資料を基に、問題を取り扱う学年や単元を確認する。</li> <li>2 調査問題を練習問題や単元のまとめの問題として活用する。</li> </ol>
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領で求められている学力が、どのような形式で出題されているのか確認し、授業改善に生かす必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒の課題を明確にし、個に応じたきめ細かい指導につなげる必要があります。</li> <li>○ 参考平均値と比較して、学力向上の取組について検証する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領で求められている学力を基にした問題に挑戦させ、児童生徒の客観的な学習状況を把握する必要があります。</li> </ul>

## ◇ 調査問題と教科書(第6学年)の学習内容との対応1

<p>問題 番号1</p>	<p>青木さんは、インスタント食品の良さについて調べるために、必要な情報を得ることができそうな相手を選んで取材し、分かったことを基に自分の考えをまとめて発表している。ここでは、課題解決に向け、取材の進め方やメモの取り方を工夫したり、自分の意見と比べて考えをまとめたりすることが求められる。</p>	
	<p>出題の趣旨</p>	<p>活用事例(光村図書)</p>
<p>設問1</p>	<p>目的に応じた取材の進め方を捉えることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと ア</p>	<p>「私たちにできること」 ・提案のための資料を集める。(本やインタビューなど) ○ テーマに対して必要な情報を得るためにはどのようなことに留意する必要があるかを理解させる際に、調査問題を活用する。</p>
<p>設問2</p>	<p>目的に応じたメモの取り方を捉えることができるかどうかをみる。 〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと ア</p>	<p>「いちばん大事なものは」 ・友達と考えを伝え合い、自分の考えに生かす。 ○ 互いの考えを交流する場面で、どのようにメモを取ることが適切かを理解させるために、調査問題を活用する。</p>
<p>設問3</p>	<p>目的や意図に応じ、取材内容を基にして、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと エ</p>	<p>○ 他の人と交流して、変わったり深まったりした考えをノートにまとめるときのポイントを理解させる際に、調査問題を活用する。</p>

## ◇ 調査問題と教科書(第5学年・第4学年)の学習内容との対応2

問題番号1	青木さんは、インスタント食品の良さについて調べるために、必要な情報を得ることができそうな相手を選んで取材し、分かったことを基に自分の考えをまとめて発表している。ここでは、課題解決に向け、取材の進め方やメモの取り方を工夫したり、自分の意見と比べて考えをまとめたりすることが求められる。		
	出題の趣旨	対応教材(光村図書)	
設問1	目的に応じた取材の進め方を捉えることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと ア	第5学年 「みんなが過ごしやすい町へ」 ・調べたことを正確に報告する。	第4学年 「新聞を作ろう」 ・事実を分かりやすく報告する。
設問2	目的に応じたメモの取り方を捉えることができるかどうかをみる。 〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと ア	第5学年 「どちらを選びますか」	第4学年 「あなたなら、どう言う」
設問3	目的や意図に応じ、取材内容を基にして、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと エ		

## ◇ 調査問題と教科書(第3学年・第2学年・第1学年)の学習内容との対応3

<p>問題 番号1</p>	<p>青木さんは、インスタント食品の良さについて調べるために、必要な情報を得ることができそうな相手を選んで取材し、分かったことを基に自分の考えをまとめて発表している。ここでは、課題解決に向け、取材の進め方やメモの取り方を工夫したり、自分の意見と比べて考えをまとめたりすることが求められる。</p>			
	<p>出題の趣旨</p>	<p>対応教材(光村図書)</p>		
<p>設問1</p>	<p>目的に応じた取材の進め方を捉えることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと ア</p>	<p>第3学年 「仕事のくふう、見つけたよ」 ・組み立てを考えて、報告する文章を書く。</p>	<p>第2学年 「こんなもの、見つけたよ」 ・組み立てを考えて書き、知らせる。</p>	<p>第1学年 「好きなもの、なあに」 「こんなことがあったよ」</p>
<p>設問2</p>	<p>目的に応じたメモの取り方を捉えることができるかどうかをみる。 〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと ア</p>	<p>第3学年 「山小屋で三日間すごすなら」</p>	<p>第2学年 「ことばでみちあんない」</p>	<p>第1学年 「ききたいな、ともだちのはなし」</p>
<p>設問3</p>	<p>目的や意図に応じ、取材内容を基にして、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと エ</p>			

## ◇ 調査問題と教科書(第6学年)の学習内容との対応4

<p>問題 番号2</p>	<p>岩田さんは、プラスチックごみの問題について調べ、学級の友達にプラスチックごみを減らす行動をしようと提案する文章を書いている。ここでは、構成すること、事実と意見を書き分けること、目的や意図に応じて表を用いて書くことが求められる。</p>	
	<p>出題の趣旨</p>	<p>活用事例(光村図書)</p>
<p>設問1</p>	<p>目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと イ</p>	<p>1 「時計の時間と心の時間」「『鳥獣戯画』を読む」などの教材において「読むこと」の学習を行い、文章構成や事実と意見の区別、表を用いた目的等について学び、学習後に力が定着しているかどうかをみる際に、調査問題を活用する。</p> <p>2 「私たちにできること」「日本文化を発信しよう」などの教材において、「書くこと」の学習を行う際に、教科書に示されたモデル文と併せて調査問題を活用する。</p>
<p>設問2</p>	<p>事実と意見とを区別して書くことができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと ウ</p>	
<p>設問3</p>	<p>表を用いた目的を捉えることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと エ</p>	

## ◇ 調査問題と教科書(第5学年・第4学年)の学習内容との対応5

<p>問題 番号2</p>	<p>岩田さんは、プラスチックごみの問題について調べ、学級の友達にプラスチックごみを減らす行動をしようと提案する文章を書いている。ここでは、構成すること、事実と意見を書き分けること、目的や意図に応じて表を用いて書くことが求められる。</p>		
	<p>出題の趣旨</p>	<p>対応教材(光村図書)</p>	
<p>設問1</p>	<p>目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと イ</p>	<p>第5学年 1 「言葉の意味が分かること」  2 「固有種が教えてくれること」 「グラフや表を用いて書こう」 ・ 資料を用いた文章の効果を考え、それを活かして書く。</p>	<p>第4学年 1 「アップとルーズで伝える」  2 「世界にほこる和紙」 「伝統工芸のよさを伝えよう」 ・ 中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書く。</p>
<p>設問2</p>	<p>事実と意見とを区別して書くことができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと ウ</p>		
<p>設問3</p>	<p>表を用いた目的を捉えることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと エ</p>		

## ◇ 調査問題と教科書(第3学年・第2学年・第1学年)の学習内容との対応6

<p>問題 番号2</p>	<p>岩田さんは、プラスチックごみの問題について調べ、学級の友達にプラスチックごみを減らす行動をしようと提案する文章を書いている。ここでは、構成すること、事実と意見を書き分けること、目的や意図に応じて表を用いて書くことが求められる。</p>		
	<p>出題の趣旨</p>	<p>対応教材(光村図書)</p>	
<p>設問1</p>	<p>目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと イ</p>	<p>第3学年 1 「こまを楽しむ」 2 「すがたをかえる大豆」 「食べ物のひみつを教えます」 ・ 例の書かれ方に気を付けて読み、それを活かして書く。</p>	<p>第2学年 1 「たんぽぽのちえ」 2 「馬のおもちゃの作り方」 「おもちゃの作り方をせつめいしよう」 ・ 説明の仕方に気を付けて読み、それを活かして書く。</p>
<p>設問2</p>	<p>事実と意見とを区別して書くことができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと ウ</p>		<p>第1学年 1 「くちばし」 2 「じどう車くらべ」 「じどう車ずかんをつくろう」 ・ 説明の仕方に気を付けて読み、それを活かして書く。</p>
<p>設問3</p>	<p>表を用いた目的を捉えることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと エ</p>		



## ◇ 調査問題と教科書(第6学年)の学習内容との対応7

<p>問題 番号3</p>	<p>木村さんは、人と動物の心の交流が描かれている物語を読み、友達に紹介するため、必要な情報を付箋にまとめている。ここでは、場面の様子や登場人物の心情などの叙述を基に、自分の考えをまとめることが求められる。</p>	
	<p>出題の趣旨</p>	<p>活用事例(光村図書)</p>
<p>設問1</p>	<p>叙述を基に場面の様子を捉え、登場人物の気持ちを想像することができるかどうかをみる。 〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと ウ</p>	<p>1 「やまなし」 ・ 作品の世界をとらえ、自分の考えを書く。</p>
<p>設問3</p>	<p>登場人物の相互関係に基づいた行動を表す叙述から、心情を捉えることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと エ</p>	<p>○ 学習に入る前に、レディネス問題として活用したり、学習後に力が定着しているかどうかを把握したりするために、調査問題を活用する。</p> <p>2 「海の命」 ・ 登場人物の関係をとりえ、人物の生き方について話し合う。</p>
<p>設問4</p>	<p>複数の叙述を関係付け、登場人物の心情について自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと エ</p>	<p>○ 学習に入る前に、レディネス問題として調査問題を活用する。</p>

## ◇ 調査問題と教科書(第5学年・第4学年)の学習内容との対応8

<p>問題 番号3</p>	<p>木村さんは、人と動物の心の交流が描かれている物語を読み、友達に紹介するため、必要な情報を付箋にまとめている。ここでは、場面の様子や登場人物の心情などの叙述を基に、自分の考えをまとめることが求められる。</p>	
	<p>出題の趣旨</p>	<p>対応教材(光村図書)</p>
<p>設問1</p>	<p>叙述を基に場面の様子を捉え、登場人物の気持ちを想像することができるかどうかをみる。 〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと ウ</p>	<p>第5学年 1 「たずねびと」 ・ 物語の全体像をとらえ、考えたことを伝える。 2 「大造じいさんとガン」 ・ 優れた表現に着目して読み、物語の魅力をまとめる。</p>
<p>設問3</p>	<p>登場人物の相互関係に基づいた行動を表す叙述から、心情を捉えることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと エ</p>	<p>第4学年 1 「ごんぎつね」 ・ 気持ちの変化を読み、考えたことを話し合う。 2 「初雪のふる日」 ・ 感じたことをまとめ、伝え合う。</p>
<p>設問4</p>	<p>複数の叙述を関係付け、登場人物の心情について自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。 〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと エ</p>	

## ◇ 調査問題と教科書(第3学年・第2学年・第1学年)の学習内容との対応9

問題番号3	木村さんは、人と動物の心の交流が描かれている物語を読み、友達に紹介するため、必要な情報を付箋にまとめている。ここでは、場面の様子や登場人物の心情などの叙述を基に、自分の考えをまとめることが求められる。	
	出題の趣旨	対応教材(光村図書)
設問1	叙述を基に場面の様子を捉え、登場人物の気持ちを想像することができるかどうかをみる。 [第3学年及び第4学年] C 読むこと ウ	第3学年 1 「ちいちゃんのかげおくり」 ・ 場面を比べながら読み、感じたことをまとめる。 2 「モチモチの木」 ・ 登場人物について話し合う。
設問3	登場人物の相互関係に基づいた行動を表す叙述から、心情を捉えることができるかどうかをみる。 [第5学年及び第6学年] C 読むこと エ	第2学年 1 「お手紙」 ・ 想像したことを音読劇で読み比べる。 2 「スーホの白い馬」 ・ 読んで感じたことを伝え合う。
設問4	複数の叙述を関係付け、登場人物の心情について自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。 [第5学年及び第6学年] C 読むこと エ	第1学年 1 「くじらぐも」 ・ 思いを浮かべながら読む。 2 「ずうっと、ずっと、大すきだよ」 ・ 読んで感じたことを話す。

## ◇ 調査問題と第3学年及び第4学年の学習内容との関連表

問題番号	問題の概要	問題の趣旨	学習内容
1(2)	10000mは何kmであるのかを書く。	長さの単位について理解している。	第3学年 長さ
1(3)	72000m <sup>2</sup> は何の72000個分であるかを選ぶ。	面積の単位と測定の意味について理解している。	第4学年 面積
1(4)	縦80m、横50mの長方形の面積を求める式を書く。	長方形の面積の求め方について理解している。	
1(5)	縦80m、横50mの長方形を縦に何個、横に何個並べると、縦240m、横300mの長方形になるかについて、求め方と答えを書く。	二つの長方形の辺の長さを比較し、長方形を縦に並べる個数と横に並べる個数の求め方と答えを記述できる。	
3(4)	0.75+0.9について、ある数のいくつかを考え、整数のたし算に表して説明するときの求め方を書く。	示された考えを基に、数の相対的な大きさを用いて、小数の加法を整数の加法に直して処理する方法を記述できる。	第4学年 小数のしくみと たし算、ひき算
4(2)	ヘチマのくきの長さを表している棒グラフを基に、のびたくきの長さを表している棒グラフを選び、選んだわけを書く。	示された棒グラフを基に、ほかの観点で表している棒グラフを棒の長さに着目して判断し、判断の理由を記述できる。	第3学年 表と棒グラフ
4(3)	教室の気温を表している折れ線グラフから読み取ることができる事柄を選ぶ。	折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる。	第4学年 折れ線グラフ

## ◇ 調査問題と第5学年の学習内容との関連表

問題番号	問題の概要	問題の趣旨	学習内容
1(1)	150cmの1.3倍に当たる長さを求める式と答えを書く。	基準量、比較量、割合について、数量の関係を捉えて立式し、乗数が小数の割合の乗法の計算をすることができる。	小数のかけ算
2(1)	三角柱の底面に貼る紙の枚数と、側面に貼る紙の枚数を書く。	三角柱の底面と側面について理解している。	角柱と円柱
2(2)	示された四角柱について、かけ算の式がどのようなことを表しているのかを書く。	底面が正方形の四角柱の校正要素や性質を基に、示された情報の式の意味を記述できる。	
2(3)	円柱の側面に貼る長方形の紙の横の長さを示す適切な点を選ぶ。	直径、円周、円周率の関係について理解している。	
2(4)	エナメル線のおよその長さを求めるために、調べる必要のある数量を選ぶ。	示された場面において、全体の大きさを求めるために、一つ分の大きさのほかに必要な数量を見いだすことができる。	
3(1)	$1/3+2/5$ を計算する。	異分母の分数の加法の計算をすることができる。	分数の大きさ とたし算、ひき算
3(2)	$1/4L$ の図を直すわけとしてまとめた文章に入る数を書く。	$1L$ の大きさを表している図を基に、異分母の分数の加法における示された二つの図について解釈することができる。	
3(3)	$1/2+1/4$ の計算の仕方を表している図について、一つ分の大きさが何Lであるのかを書く。	示された計算の仕方を解釈し、異分母の分数の加法における単位分数の大きさを捉えることができる。	
4(1)	50個の図に対して、40個を表している図を選び、40個は50個の何%であるのかを書く。	基準量と比較量の間係を表している図を判断し、百分率について理解している。	割合

## ◇ 第6学年での活用例

「大問2 角柱や円柱」の問題を「角柱や円柱の体積」の導入で復習問題として活用する。

## ◇ 調査問題と教科書(第3学年)の学習内容との対応1

<p>問題 番号1</p>	<p>中学生に対して、卒業生である高校生がスピーチを行う場面を設定している。 ここでは、動画を効果的に活用した話し方について考えたり、相手の話に対するお礼の言葉としてふさわしい内容や言葉遣いで話したりすることや、行書の特徴について考えることを求めている。</p>	
	<p>出題の趣旨</p>	<p>活用事例(東書)</p>
<p>設問1</p>	<p>資料や機器などを効果的に活用した話し方について理解しているかどうかをみる。 〔第2学年〕 A 話すこと・聞くこと ウ</p>	<p>「場面に応じて話そう～条件スピーチ」 「話し合いで問題を解決しよう～チャート式討論～」  ○ 学習に入る前に、生徒のレディネスを把握したり、学習後に力が定着しているかどうかをみたりするために、調査問題を活用する。</p>
<p>設問3</p>	<p>自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができるかどうかをみる。 〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと イ</p>	<p>→資料や機器の活用に課題がある場合は、プレゼンテーションやポスターセッションなどの活動を通じた学習を行うよう工夫する。  →分かりやすく伝えることに課題がある場合は、はじめに「目的や相手に応じて説明する」に示された2つの観点を確認するなど、学習の進め方を工夫する。</p>

◇ 調査問題と教科書(第3学年)の学習内容との対応2

<p>問題 番号3</p>	<p>「卒業」をテーマに俳句を創作する場面を設定している。ここでは、俳句に用いる言葉を複数の候補の中から選び、その言葉を選んだ理由を書くことを求めている。</p>	
	<p>出題の趣旨</p>	<p>活用事例(東書)</p>
<p>設問</p>	<p>自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書くことができるかどうかをみる。 〔第2学年〕 B 書くこと ウ</p>	<p>「観察・分析して論じよう～批評文～」 ・論の進め方を工夫し、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。 ○ 学習に入る前に、レディネス問題として活用したり、学習後に力が定着しているかどうかを把握するために、調査問題を活用する。  →説明や具体例を加えて書くことに課題がある場合には、「言葉の力」に示されているポイント(「自分の判断の根拠はできるだけ具体的に示す」など)とあわせて取り扱うなど、学習の進め方を工夫する。</p>

## ◇ 調査問題と第1学年の学習内容との関連表

問題番号	問題の概要	問題の趣旨	学習内容
1	絶対値が3より大きい数を選ぶ。	絶対値の意味を理解している。	正の数・負の数
2	2けたの自然数を文字を用いた式で表す。	数量を文字を用いた式に表すことができる。	文字を用いた式
3	垂線を作図する手順においてふさわしい点を選ぶ。	垂線の作図の方法について理解している。	平面図形
5	男子生徒35人がハンドボール投げを行い、記録の中央値が24mだったことについて、正しく記述しているものを選ぶ。	中央値の意味を理解している。	資料の散らばりと代表値
6(1)	4日間で集まった紙パックの枚数を求めるのに、枚数を何に置き換えて考えているかを書く。	事象における数量の関係を見だし、それを的確に捉えることができる。	比例・反比例
6(2)	集まった紙パックの合計の重さを45000gとしたとき、紙パックの枚数の違いがおよそ何枚になるかをグラフから求める方法を説明する。	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。	
8(1)	待ち時間の範囲を求める。	範囲の意味を理解している。	資料の散らばりと代表値
8(2)	ヒストグラムから待ち時間が60分未満の来院者の人数を求める。	目的に応じてヒストグラムから分布の特徴を読み取ることができる。	
8(3)	「60分未満の来院者数は、8時台の方が11時台より多いとは言い切れない」と主張することができる理由を相対度数を用いて説明する。	データの特徴を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。	



## ◇ 調査問題と第2学年の学習内容との関連表

問題番号	問題の概要	問題の趣旨	学習内容
4	xの増加量とyの増加量から一次関数の変化の割合を求める。	一次関数の変化の割合を求めることができる。	一次関数
7(1)	AF//BEとなることについて根拠となる2つの角を書く。	2直線に1つの直線が交わるとき、錯角が等しければ、2直線は平行になることを理解している。	図形の合同
7(2)	調べたことの①と④を基に、予想が成り立つことをいう際に、根拠として用いる平行四辺形になるための条件を選ぶ。	根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解している。	
7(3)	△ABCにおいて、∠Bの大きさが90°で、点Eが辺BCの中点ならば、四角形ABEFがどのような四角形になるかを説明する。	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる。	
9(1)	洋平さんの求め方の手順2に対応する計算を連立方程式を解く過程1から選ぶ。	連立方程式を解く過程を、事象に即して解釈することができる。	連立方程式
9(2)	里奈さんの求め方の手順3において、わる数の3がどんな数であるかを説明する。	連立方程式を解く課程を振り返り、事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる。	

## ◇ 第3学年での活用例

「大問4 一次関数」の問題を「2乗に比例する関数」の変化の割合を求める場面で復習問題として活用する。